

デジカメ写真を綺麗に写す！

最近のデジタルカメラは機能が充実しており、全自動でプロにも負けない(?)綺麗な写真を写すことができますが、時々、自分の意図しない(失敗)写真になることがあるかと思います。そんな時のための撮影のヒントや画像編集のヒントをまとめてみました。

ここで説明するのは、コンパクト・デジタルカメラを使う場合の基本的な撮影方法と、PictBear というフリーの画像編集ソフトを使った修正方法の一部です。

従って、個々のカメラについての詳しい操作方法等は、各カメラの説明書を精読することをお勧めします。

最近のコンパクト・デジタルカメラは高度な機能が付加されていて、この手順書に書いている不都合な現象を簡単に回避できる便利な機能もあります。そういった便利な機能のうち、Canon 製品の機能の一部について、機能名称のみですが記載しましたので、参考にしてください。

なお、手順書の中で「カメラ」とはコンパクト・デジタルカメラを、「ソフト」とは PictBear を「便利機能」とは最近の Canon 製品に搭載されている機能のことを言います。

1. ピンボケ写真になった

最近のカメラは、ピントを合わせる枠(Canon では「AF フレーム枠」という)が多数あり、ピントの合った位置を表示してくれるので、大概の場合ピントの合った写真が撮れますが、時として自分の意図しないところにピントが合うことがあり、ピンボケ写真となる。



写真1. 後ピン



写真2. ジャスト ピント

◎ カメラでの対応

対策1. ピントを中央の一点で合わせるように、カメラの設定を変更すると、自分の意思でピントを合わせることができる。

対策2. 構図上、ピントを合わせる被写体がピント位置にない場合は、シャッターを半押しして被写体にピントを合わせた後、半押しのままカメラを動かして構図を決め、シャッターを全部押し込む。(AFロックと言う。)

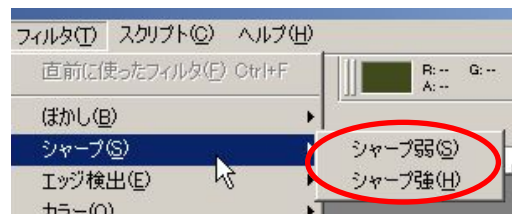
対策3. ピントが一部だけ合って、他がぼけている場合は、絞りの数値(F 値)を多くする(絞り込む)とピントの合う範囲が広がる。(被写界深度が深くなると言う。)

便利機能 「顔優先 AiAF」

◎ ソフトで編集する

(1) PictBear (以下ソフトと言う) を起動し、ツールバーの「開く」ボタンを押して、編集する写真を選択する。

- (2) メニューバーの「フィルタ」－「シャープ」で「シャープ弱」を選びクリックすると、画像が少しだけくっきりとする。シャープさが足りない場合は再度「シャープ弱」を使うか、「シャープ強」を使用する。



また、コントラスト（後述）を少し強めにする
と、くっきりできる場合もあるが、やりすぎは厳禁です（画像が粗くなる）。

2. 手ブレ写真になった



写真3. 手ブレ写真



写真4. 三脚使用

◎ カメラでの対応

対策1. カメラが動かない（ブレない）姿勢でシャッターボタンを押す。

対策2. カメラがブレない早いシャッタースピードで写す（少なくとも 1/200 以上）。

早いシャッタースピードが選べないときは ISO 感度を上げると、より早いシャッタースピードが選べるようになる。

（参考）ISO 感度には、「Auto」、「80」、「100」、「200」、「400」・・・「1600」などがある。（感度を上げると早くシャッターが切れるが、画像は粗くなる。）

対策3. 三脚を使う。

便利機能 「高感度で撮る（ISO3200）」、「手ぶれ補正」

◎ ソフトで編集する

対応不可（僅かなブレは「シャープ」で直ることもあるが、基本的には無理）

3. 明る（暗）すぎる写真になった

カメラは測光方式（下記の参考欄参照）、或いは測光ポイントによって、見た目と違った明るさで写ることがある。（写真5、6はスポット測光により写した例）



写真5. 測光ポイントが白の場合



写真6. 測光ポイントが黒の場合

◎ カメラでの対応

対策1. 露出補正機能を利用する。明るすぎる写真を暗く写す場合は、マイナスに露出補正をし、暗すぎる写真を明るく写すには、プラスに露出補正をするとよい。

露出補正の仕組みは難しいので、説明は省略します。まずは方法だけ覚えてください。

対策2. 被写体をスポット測光し、AE ロックボタンを押すと露出が固定されるので、カメラを動かして構図を決めた後、撮影する。(高度な技術)

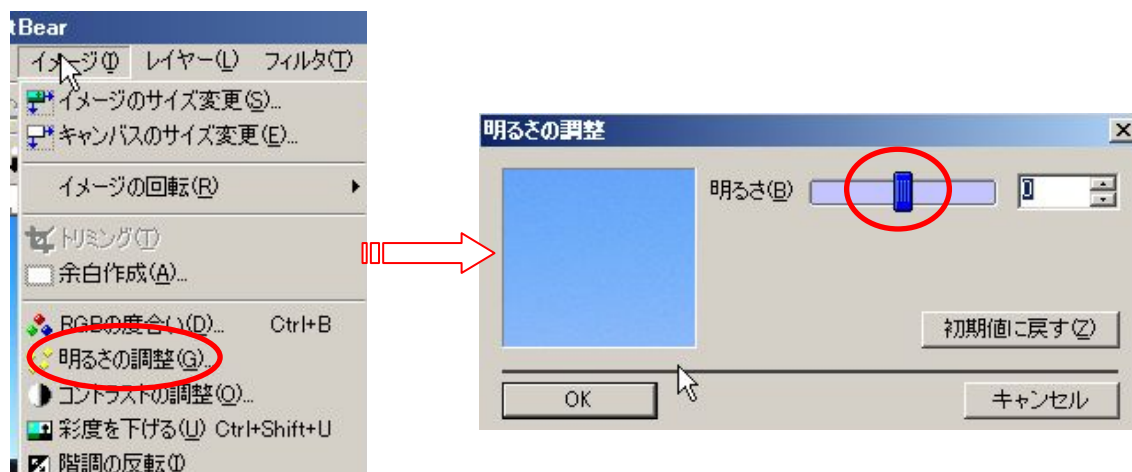
(参考) 測光方法には通常3つの方法があり、測光ポイントが表示される。

- ・多分割(マルチパターン)測光 ⇒ ファインダー内の全体の明るさを測り、その平均的な明るさで写す。(評価測光とも言う。)
- ・中央部重点測光 ⇒ 全体の明るさを測るが中央部分の明るさに重点を置いて写す。
- ・スポット測光 ⇒ 文字通り中央の一点のみを測光して写す。

便利機能 「暗部補正」

◎ ソフトで編集する

対策1. 明るさ修正 ⇒ メニューバー「イメージ」－「明るさの調整」を実行し、表示された画面のスライダーを動かして、全体の明るさを修正する。

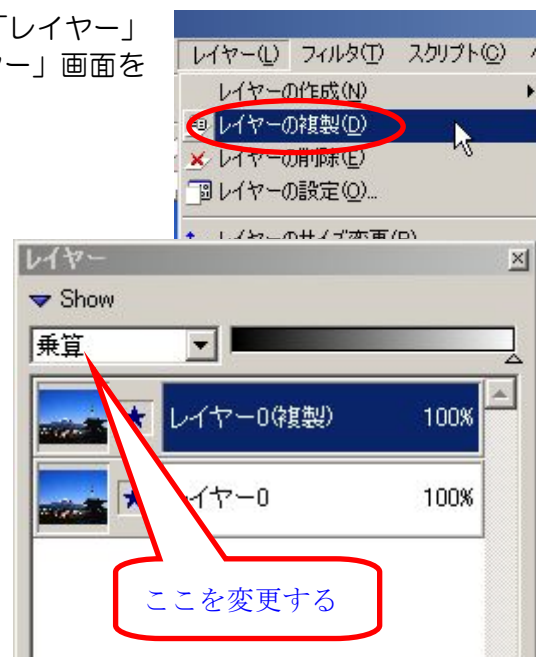


対策2. コントラスト修正 ⇒ メニューバー「イメージ」－「コントラストの調整」を実行し、表示された画面のスライダーを動かして、全体のコントラストを修正する。



対策3. レイヤーによる修正 ⇒ メニューバー「レイヤー」→「レイヤーの複製」を実行して「レイヤー」画面を表示する。

- 明るすぎる画像 ⇒ 画面内の「標準」を「乗算」に変更すると画像が暗くなる。右側のスライダーを動かして暗さを調整する。
- 暗すぎる画像 ⇒ 画面内の「標準」を「スクリーン」に変更すると画像が明るくなる。右側のスライダーを動かして明るさを調整する。
- 全体がねむい画像 ⇒ 画面内の「標準」を「オーバーレイ」に変更すると画像にメリハリが付く。右側のスライダーを動かしてコントラストの調整をする。



4. 写真が変な色に写った

カメラのホワイトバランス（WB：下記参考欄参照）の設定が、写真を写す環境と違う場合などに、現実の色が出ないことがある。



写真7. オートホワイトバランス



写真8. 白熱電球



写真9. 白色蛍光灯



写真10. 日陰

◎ カメラでの対応

対策1. ホワイトバランス（WB）を変える ⇒ 通常は「AWB」（オートホワイトバランス）に設定しておくが良い。

対策2. ホワイトバランスを、通常は「AWB」に設定しておく、殆どの場所に対応できるが、例えば蛍光灯の下で写すと違った色で写る場合がある。こんな場合は、ホワイトバランスを「蛍光灯」に変更すると自然の色に近くなる。

（参考）ホワイトバランスには「AWB」、「太陽光」、「くもり」、「電球」、「蛍光灯」などが

ある。

便利機能 シーンモード機能「パーティ／室内」、「夕焼け」、「新緑／紅葉」& etc

◎ ソフトで編集する

メニューバー「イメージ」－「RGBの度合い」を実行し、表示された画面の「赤」、「緑」、「青」各色のスライダーを動かして調整すると修正できる。（バランスが難しいです）



5. 至近距離で写真を撮りたい（マクロ撮影）

◎ カメラでの対応

対策1. 撮影モードを「マクロ」に設定すると、被写体を至近距離から写すことができる。
レンズをズームアップすると拡大写真を至近距離から撮れる。（手振れに注意）

対策2. レンズの先にクローズアップレンズ（凸レンズ）を付けると、マクロ撮影が出来る。

（参考）マクロ撮影は合焦点域が狭いので、ピント合わせが難しい（非常にぶれ易い）。三脚を使わないと必ずぶれると認識すること。

6. 主題がはっきりしない写真

漫然、雑然と写っていて、主題が何か分かりづらい場合がある。（主役が分からない。）

◎ カメラでの対応

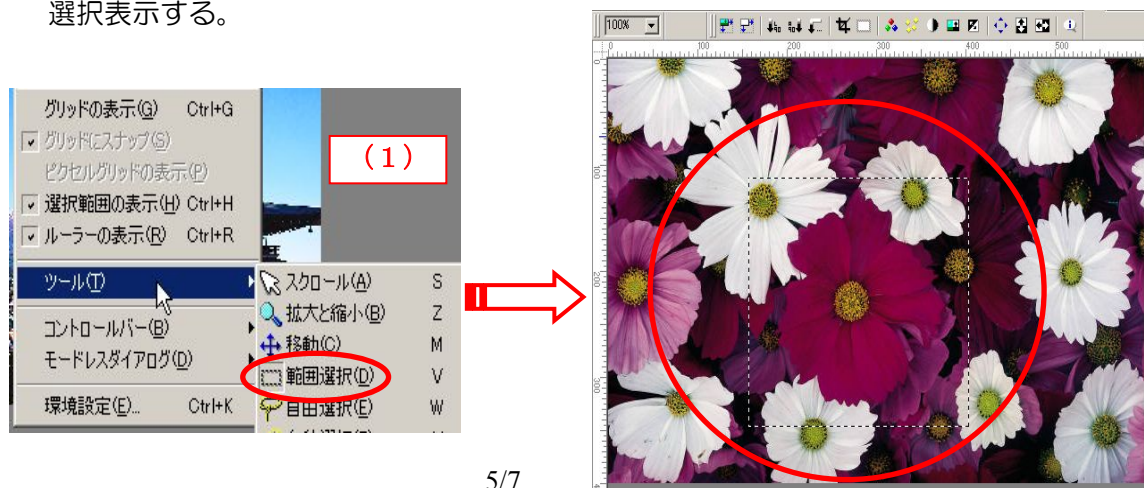
対策1. カメラの応用機能モード（撮影モード、撮影シーンモード）を旨く選択して写す。（ポートレート、接写（マクロ）スナップ、遠景など）

対策2. 主役にしたい被写体に近づいて写すと、写した人の主張が出て、はっきりした写真になる。

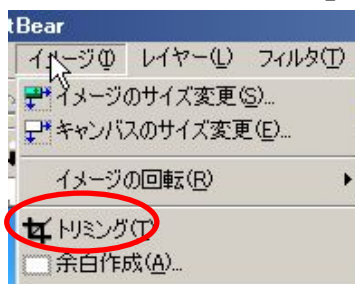
◎ ソフトで編集する

主題にピントがきれいに合っておれば、トリミングして主役を生かすことも出来る。

(1) メニューバー「表示」－「ツール」－「範囲選択」を実行し、画像にトリミングする範囲を選択表示する。



(2) メニューバー「イメージ」－「トリミング」を実行して、主題部分を切り取る。



7. 夜景を撮ると真っ黒になった

夜間撮影では通常フラッシュを使うが、フラッシュを使うと遠景が写らないこともある。



写真 11. 夜景（フラッシュ使用）



写真 12. 夜景（フラッシュなし）



写真 13. 夜景スナップ（フラッシュ使用）

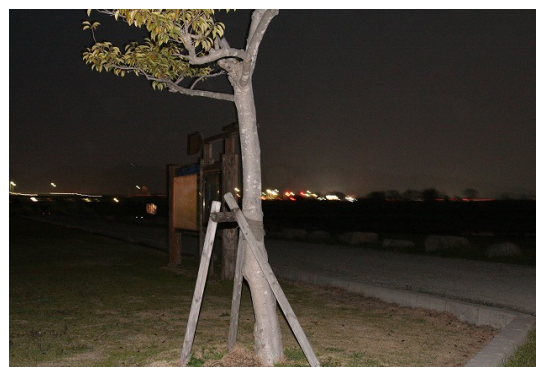


写真 14. 夜景スナップ（スローシンクロ）

◎ カメラでの対応

対策 1. 夜景を撮るときにはフラッシュは発光禁止に設定して撮影する。

撮影モードは「AUTO」又は「シャッタースピード優先」に設定して、長秒間露出で（シャッタースピードを遅くして）撮る。

シャッタースピードは夜景の明るさで異なる。（経験値で設定）

対策 2. 人物とバックの夜景の両方を綺麗に撮るには、長秒間露出に設定しておいて、フラッシュの「スローシンクロ」モードで写す。

（参考）スローシンクロで写すと、人物はフラッシュの光で写し、背景は自然の光で写せるようになる。

夜景撮影には、三脚の使用が必要条件です。

便利機能 「ナイトスナップ」、「高感度 ISO3200」、「長秒時露光」

◎ ソフトで編集する

上記3. の対策1～3で、ある程度の修正はできるが、画像が非常に粗くなり使えない。

最後に

きれいな写真を撮るときに、ピントをきちんと合わせるのは基本中の基本です。カメラ任せにしていると記念写真しか撮れません。

手ぶれ対策には三脚が必要です。手ぶれ防止機能が付いていても万能ではありません。

夜間撮影などの場合、高感度撮影をすると画像は粗くなりますが、A4 や B4 サイズなら問題ないと思います。

レタッチソフトで過度の編集をすると、画像が粗くなり印刷に耐えられなくなることがあります。カメラできれいに撮ることが大事です。

最終 2009.04.06